



京都和東

おふふ茶苑

農業ソーシヤル ベンチャー



はじまり

19年前 新規就農

ゼロからのスタート



茶産地で飲んだ
一杯のお茶への感動
から始まった。

2004年3月
おふふ開始
(ネット通販)

事業内容

和東茶の生産



管理茶園面積5100坪

和東茶の販売



<http://obubu.com/>



<http://obubutea.com/>



ネット通販

世界116カ国

日本茶カフェ (京都大丸)



お茶会



茶畑での体験



茶摘体験



茶苗の植林体験

1日50円で茶畑一坪のオーナーになれる
茶畑オーナー制度



メンバリー



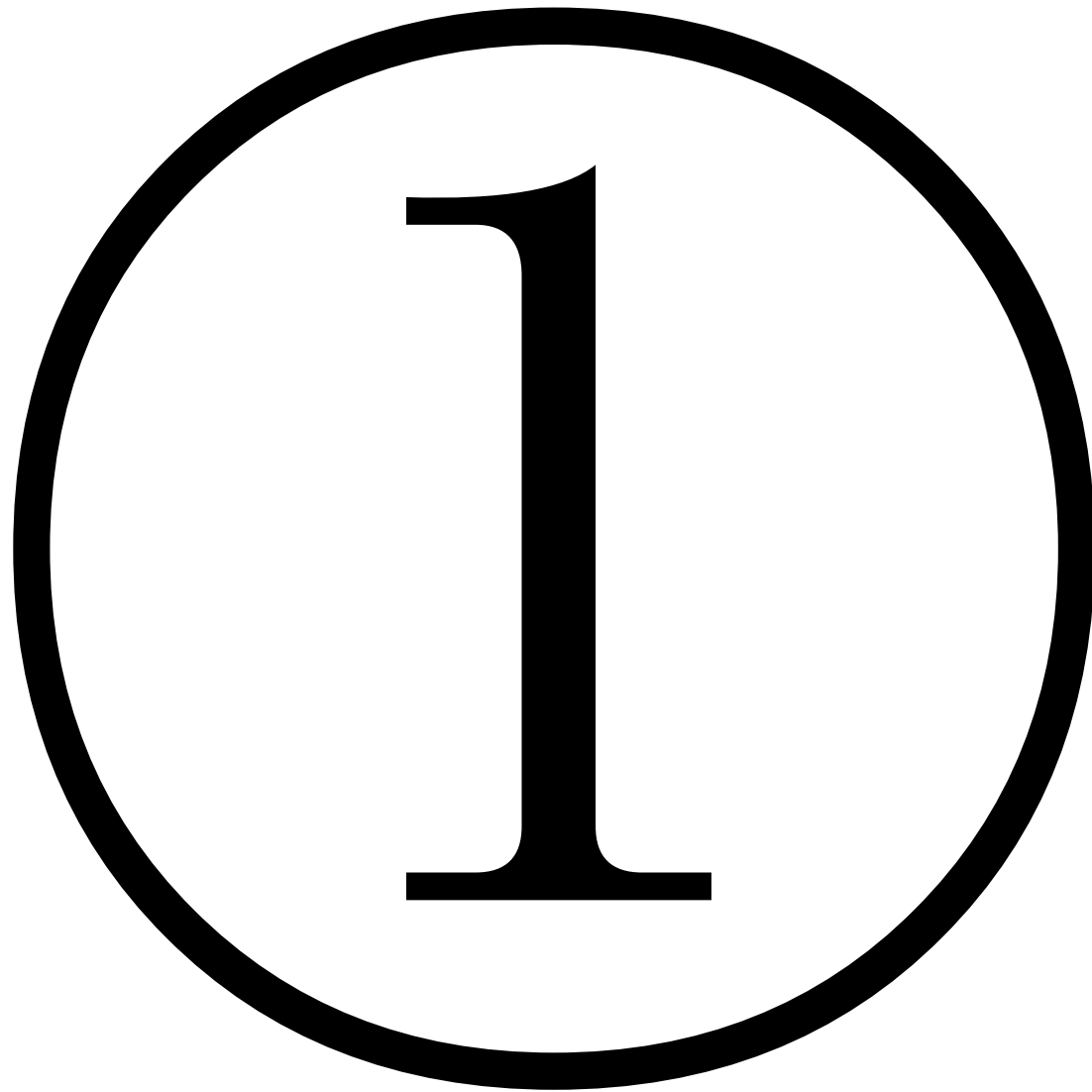
5人くらい

企業ミッション

3つ

企業ミッション

1. 日本茶を世界へ
2. 農業を楽しく
3. 茶畑からの社会貢献



日本茶を世界へ

海外での普及活動



パリ



シアトル



デンバー



ラスベガス



サンディエゴ



ハワイ

海外からの茶畑ツアー



World Tea Tours 7カ国 15名さま 和束来訪
2010年4月24～25日

海外インターン生の受入



国際茶園協会設立



経産省のバックスアップ



2

農業を楽しく。

茶畑での体験



茶摘体験



茶苗の植林体験

農業研修生の受入れ



現場からの情報発信



3

茶畑からの社会貢献

障がい者との協働



ラベル貼り、パンフ折りなど
軽作業を障がい者作業所に委託

老人ホームでのお茶会



子供たちに農業体験



児童養護施設(いわゆる孤児院)
児童自立支援施設(いわゆる教護院)の子供たち向けの
茶畑での体験

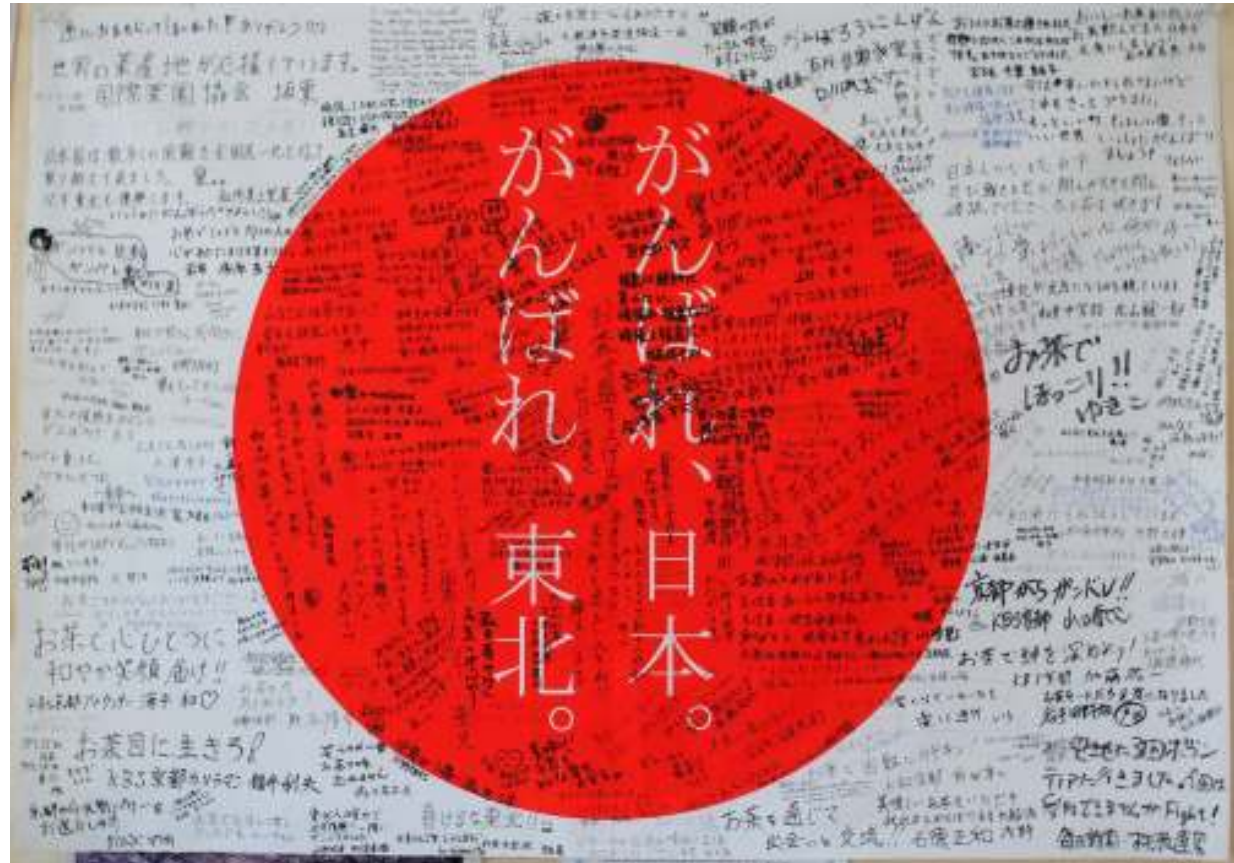
お茶の大学

University of Cha



災害支援

(震災復興お茶キャラバン)



所在地

京都府和束(おづか)町

人口:4600人

過疎・高齡の町

産業:茶の生産

和東(わづか)

日本一高価な
お茶の生産地

茶畑オーナー制度 について

仕組

1日50円 ⇔ 茶畑一坪

(月額1500円)

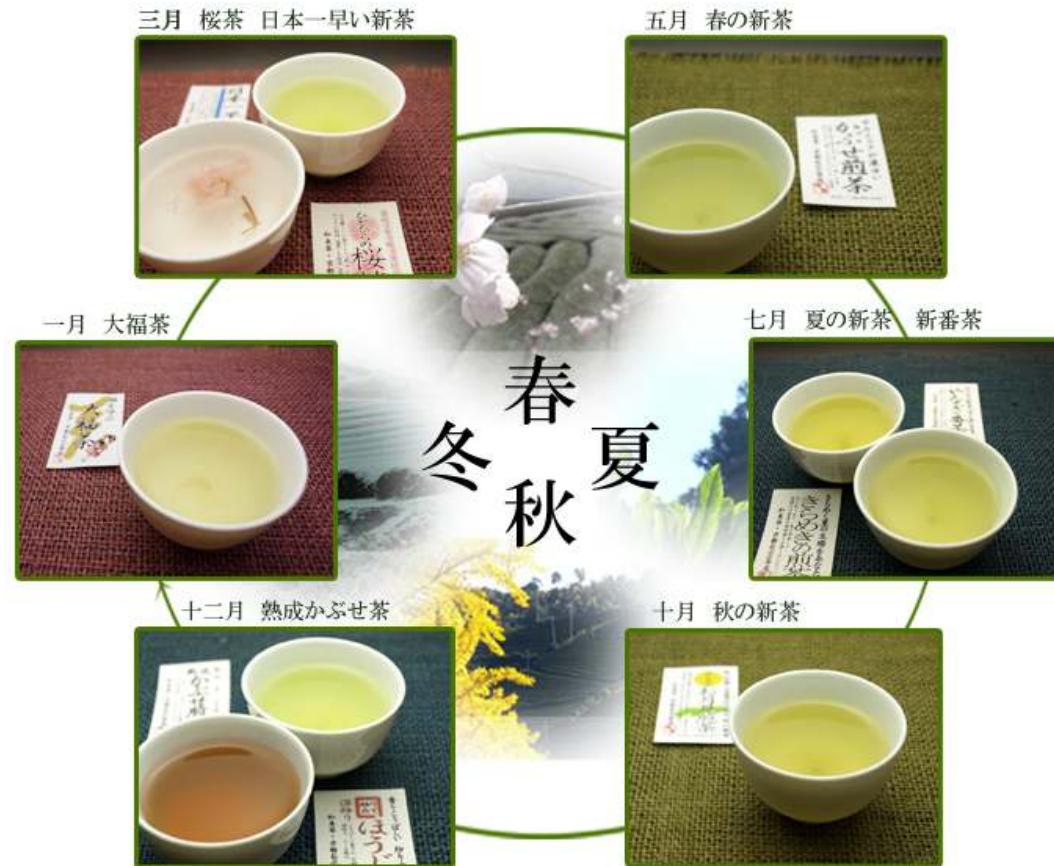


きわめてシンプル

オーナーになる

メリット

年6回お茶が届く



茶葉:200g/回(送料無料)

名前が残る

茶畑の芳名板



農業体験に参加できる



茶摘み体験



茶苗の植林体験

茶畑での VIP待遇

お茶の試飲



茶畑案内



農作業体験



京都に茶畑を持っていると
自慢できる



共に社会貢献できる



- 日本茶を世界へ
- 農業を楽しく
- 茶畑からの社会貢献

特徵

真夏の炎天下

れ 肥料まき

日常的な

冬の寒さ

農作業は不要

ま れ 作業

草取り

ふ れ

社が

持って管理

け

だから

海外から

(会 : 一日 0円)

地

フトに できる



の に



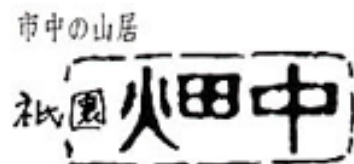
人に

いつでも
申込・退会可能

24 365日
ネット・送・で

~~年1回~~

法人でもなれる



世界 地でのイベント 施




アメリカ



京

フト ま が れる



育成・収穫証明書

この茶葉は、
茶畑オーナー竹内加代さまの茶畑にて
育成・収穫した茶葉を100%使用した、
純粋な宇治茶であることを証明する。

茶畑オーナー No.99999

茶畑所在地 京都府相楽郡和束町
原料茶葉 荒茶(京都和束産宇治茶葉100%)
生産責任者 喜多 章浩(京都府知事認定エコファーマー)

京都おぶぶ茶苑
おぶぶ茶苑



法人・団体向け サービス

- 農園の
- プライベート農業体験
- 特 価 での 取
- ロ 入りなどのお茶の制作

一 に社会貢献活動

チャリ (茶

- ーイベント
など)



孤児院、
教護院
の子 に

障がい、者との協働



ラベル貼り、パンフ折りなど
軽作業を障がい者作業所に委託

の発信

日本茶を世界へ



インバ
ン
茶 体験

アトバ
ン
海外での普及活動

災害支援

(震災復興お茶キャラバン)



- 支援 の 送
- 海外からの

現在

茶畑オーナー 600名



海外茶畑才一ナ一 世界12カ国30人



5000人の
茶畑オーナー
と共に
農業でまちおし

動

200 年12月

お から いた
メール

京都おぶぶ茶苑 様

Tの家内 優子と申します。
いつも心のこもったメール

ありがとうございます。

お知らせしようかずいぶん迷っていました
が、

今日の茶畑オーナーのメールを拝見し、
一購入者で失礼かとは思いましたが、

お知らせさせて頂きます。

夫は 月 日 才で急逝いたしました。
あまりにも突然で未だに信じられない
気持ちです。

主人は、おぶぶの皆様の仕事に対する
考え方・姿勢にとても共感し、

「職種は違っても、ものを創るということとは、
みな同じだ。」と言います。

「だからおぶぶぶが好きだ」と言っていました。

有楽町での物産展で

偶然お会いしたそうですね。

亡くなったあとのメールを見てみると、あれもこれもお願いしていただろうと思うと、涙ばかりで何も出来ませんでした。

でも、今度の茶畑オーナーの件は、是非お願いしたいと思っっています。

一口で申し訳ありませんが、主人が期待していた若い方達が、一所懸命育てて下さったお茶をいただいて、独りで生きていかなければ・・・と思いはじめています。

京都和束の地に主人のお茶が育っていると
思うだけで、心が休まるような気がします。
有難うございました。



京都和東

おふふ茶苑